

# るろふく協 NEWS

福岡市博多区店屋町6番5号 小松ビル2F  
TEL092-263-3141 FAX092-263-3121  
福岡県労働者福祉協議会

- 発行/2008年3月3日
- 発行人/山口 正三
- 編集/笹井 範男

Fukuoka ROFUKUKYO ホームページ <http://fukuoka.roufuku.net/> メールアドレス [roufuku@h8.dion.ne.jp](mailto:roufuku@h8.dion.ne.jp) Vol.96

活力ある福祉社会、地域共生で暮らしに夢を!!

環境・年金・医療・介護などの改善をはかり、2008年度「安心・安全・安定した福祉社会」をつくろう!

## 南部労福協通常総会開催

2008年度 南部労福協通常総会が2月12日、沖縄県那覇市「沖縄都ホテル」で開催されました。議長には沖縄県労協評議員 名護一男氏が選出され、出口会長から「勤労者を取り巻く情勢等々、この1年間、幹事会を中心に、クレサラ・ワンストップ事業拡大に頑張ってきた。九州全県本年中に立上がる事と確信をしている」との挨拶があり、来賓として、中央労福協事務局長 高橋均様、沖縄県知事代理 仲井眞弘多様、沖縄県観光商工部 産業雇用統括監 勝目日和夫様、連合九州ブロックを代表し代表幹事 山口正三様、沖縄県高齢・退職者団体連合福岡会長 真喜志勇様、4名の来賓挨拶の後、清野南部労福協事務局長代行から、2007年度一般活動報告や2008年度活動方針が提案されました。「勤労者の暮らしにかかるサポート事業」の取り組み、「労働者福祉運動の強化と発展のために」の取り組みを中心に3項目の重点課題が確認されました。第3号議案役員補充選任について高石役員選考委員より経過報告があり、出口会長、鹿児島労働金庫本部長就任・米村一弘事務局長におかれましては、1月2日満60歳にて急逝されました。従って、来年総会まで暫定的に会長、事務局長を福岡が担当する提案があり、満場一致決定致しました。

その後、議長より「活力ある福祉社会」地域共生で暮らしに夢を!!とスローガンの提案と採択がなされ総会が終了しました。

2008年度 南部労福協総会 2008年2月12日

役職名	氏名	選出団体
会長	山口 正三	福岡県労働者福祉協議会
事務局長	笹井 範男	福岡県労働者福祉協議会
会計監査	中村 太良	九州労働金庫福岡県本部
〃	島村 幸利	全労済福岡県本部



出口会長挨拶



出席代議員

### 構成団体名簿(幹事を含む)

団体名	役職名	氏名
(社)福岡県労働者福祉協議会	会長	山口 正三
	事務局長	笹井 範男
(社)佐賀県労働者福祉協議会	会長	黒木 安秋
	専務理事	太田 吉章
長崎県労働者福祉協議会	会長	高石 哲夫
	専務局長	中村 忠孝
熊本県労働者福祉協議会	会長	河瀬 和典
	専務局長	梅木 一美
大分県労働者福祉協議会	会長	島崎 龍生
	専務局長	馬場 徳明
(社)宮崎県労働者福祉団体中央会	会長	新名 照幸
	専務局長	清野 政勝
鹿児島県労働者福祉協議会	会長	押川 浩一郎
	専務局長	(代)川野 和幸
(財)沖縄県労働者福祉基金協会	会長	仲村 信正
	専務理事	玉城 勉
連合九州ブロック連絡会	会長	山口 正三
	専務局長	下田 祐二
九州労働金庫	理事長	村上 守
	専務理事	服部 道徳
全労済西日本事業本部	本部長	真鍋 勝幸
	専務執行役員	石坂 未人

**お悔み** 米村一弘様(鹿児島県労働者福祉協議会・南部労福協事務局長)去る1月2日、永眠されました。心よりご冥福をお祈りいたします。



450年以上にわたり中国をはじめ、日本や朝鮮、東南アジア諸国との外交・交易を通じ、独自の文化や芸能を華開かせてきた海洋国家「琉球王国」。首里城は王国の政治や経済、文化の中心であり、琉球全体に広がる信仰の拠点でもありました。首里城は国営沖縄記念公園として沖縄の歴史や文化を今に伝え、未来へ受け継いで行くため整備が進められています。



首里森御獄

城内にある礼拝所のひとつで、琉球最古の歌謡集「おもろさうし」に数多く詠まれています。神話には「神が作られた聖地である」と記されています。

### 奉神門

「御庭」へ続く最後の門。3つの入り口があり、中央の門は国王や身分の高い人だけが通れる門でした。別名「君誇御門」。



# いま、なぜ 地域自主福祉か

**〔労働を中心とした  
福祉型社会〕  
の実現**

## 新たな 支え合い基盤の 再構築へ

これからは、地域における自主福祉活動の強化がきわめて重要な課題として浮上していることを物語っています。そこで求められているのは、一言でいえば「支え合い基盤の再構築」です。

「社会保障ビジョン」が示しているように、これまでの、家族依存、企業中心、そして公共事業依存の支え合いが、いろいろな意味で限界となり、一人ひとりの自己責任、自助努力をベースとした市場中心の社会に転じつつあるなかで、もう一度、相互の助け合い・支え合いをベースとする社会を創り出すことです。

この間の小泉構造改革のもとで、社会の二極化が進行し、それまで当たり前だった安全・安心の基盤が大きく崩れました。

地域のコミュニティも徐々に崩れつつあり、社会の支えを必要とする子どもたちや一人暮らしのお年寄りが犠牲になる場面も増えてきています。

## まずは ワンストップ サービスの 相談体制から

冒頭でも触れたように、連合と労働福祉団体は、新たな支え合い基盤作りに向け、まずはワンストップサービスの相談体制作りに着手することになっています。

それは、これまでの労働相談から生活相談へと一歩踏み出し、相談の受け手の方も対象者の方も、その枠組みを少しずつ広げていこうという試みです。

とはいっても、多くの困難を伴うことは事実です。この種の活動で大事なことは、できることから一歩ずつ、ということです。人のつなが

連合は「06～07年度運動方針」のなかで、地域活動について次のような方針を示しました。「地域に根ざした顔の見える運動を推進するため、『モデル地協』を中心とした地協活動を強化する。…第1段階として、組織の強化・拡大、末組織労働者や中小・地域労組への支援、労福協・労働金庫・全労済をはじめとする関係諸団体、志を同じくするNPO/NGOと協同し生活相談活動の充実などに取り組む。」

いま地域協議会の強化や、労働福祉団体との連携強化の動きが進められ、連合と労働福祉団体は、ワンストップサービスの相談体制づくりの具体化に着手しています。

地方で、「社会保障ビジョン」の改訂版(05年9月)において、「労働を中心とした福祉型社会」に向けた今後の社会保障のあり方について次のように強調しています。

「家族依存・企業福祉等に依存した伝統的な日本型システムはすでに限界にきている。…『企業中心の限界→個人責任最優先』の流れに対しては、『社会連帯・個人尊重』の価値観にもとづいた社会システムを鮮明に打ち出し、そこから国や自治体の役割を明確にする必要がある。」

「同時に、われわれ自身が、開かれた支え合い＝連帯活動の担い手としての役割を發揮していくことが問われている。」

国民にとってももっとも基本的な安全・安心を保障するのは、いうまでもなく国や自治体の任務ですが、人々の相互の助け合い、支え合いもまた、社会の基本になければなりません。

孤立した個人の自己責任をベースにし、国や自治体が最低限の保障だけを担えばよとする社会は、決して望ましい姿とはいえません。

同時に、いま大きく崩れつつある支え合い基盤を再構築することは、かつての家族依存、企業中心、公共事業依存のあり方に戻すことではありません。

なぜなら、これまでの伝統的な支え合い基盤は、きわめて閉鎖的な基盤でしかなかったからです。企業でも家族でも地域でも、そこに所属するメンバー限りという、互助会的な「福祉」だったといえます。

したがって、いま求められているのは、これまでの家族依存・企業中心によって立ち遅れてきた国や自治体の役割を明確にすると同時に、企業や家族という枠組みを超え、もっと地域に開かれた支え合い基盤を創り出していくことだといえます。

りも、地道な活動の積み重ねと信頼関係の醸成を通じて初めて広がってくるものです。

いま求められているのは、その一歩を確実に踏み出すことだといえます。

ワンストップサービスの相談体制からスタートして、さまざまなネットワーク作りを積み重ねつつ、新たな支え合いと連帯をどう形成していけるか？わたしたちの、ささやかではあっても、壮大な夢に結びつく一歩が、ここから始まります。

連合・中央労福協・労金協会・全労済実務者連絡会議資料より

# 「ライフサポートセンター」第1回設立準備会

2008年1月24日

## 設立準備会の発足について

福岡県労福協は「勤労者の暮らしにかかわるサポート事業」(仮称)展開について、2006年1月から県労福協の事務局会議、四団体会議を開催するとともに、先進県等の視察を行い事業発足に向け検討してきました。そして第8回四団体会議(2007年7月5日)で「勤労者の暮らしにかかわるサポート事業」(仮称)構想案を作成しました。この構想に基づいて、第3回県労福協理事会(2007年12月5日)で下記の内容で「ライフサポートセンター事業」を展開することを決定しました。

### ① 事業の目的

勤労者の(生活者)の暮らしや生きがいなど全般に関わる支援活動を行うことにより、勤労者の生活の安心と福祉の向上を目的とする。

### ② 事業内容

基本的には、県、地域労福協が従来から行っている活動で連帯可能なものについては事業活動の中に取り込んでいくこととする。具体的には、日常生活の中での様々な出来事・悩みなどの相談を受けた上で、利用できる制度やサービスの提供でできる機関や協力団体を案内・取次を行い、問題解決を図る。

### ③ 事業の発足 2008年6月末日途

### ④ ライフサポートセンター設置場所 連合福岡館内

## ⑤ 設立準備委員会 の設置

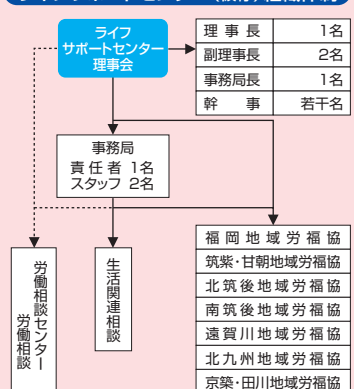
- ① 設立準備委員  
県労福協  
全労済県本部  
九州労金県本部  
連合福岡  
福岡地域労福協

- ② 準備委員会の業務  
役員スタッフ体制  
事業内容の整理  
協力団体  
NPOなどと業務提供  
などの協議

## ⑥ 地域労福協の対応について

今回の事業の推移を見つつ、各地域労福協の事業展開については検討していくこととします。なお地域の社会福祉協会、ボランティア団体、NPO、行政窓口などで様々な相談や支援実態について、調査していきます。

## ライフサポートセンター(仮称)組織体制





**保障のことなら  
全労済**

全国労働者共済生活協同組合連合会  
全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。すでに組合員は全国で1,390万人。出資金をお支払いいただいで各都道府県生協の組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

**マイカー共済** 自動車総合補償共済

ZENROSAI NEWS

2008年4月  
制度改定

掛金の見直しと  
補償強化で

さらに

**安心力UP!**

掛金の見直し、補償の拡大、特約や割引の新設など、今までよりもっと確かな「頼れる補償、大きな安心」をお届けします。

**【主な改定内容】**

**1 車両損害補償に**

**「型式別9クラス掛金」を導入**

普通・小型乗用車については、型式ごとの新車価格によって6クラスに区分していた掛金を、事故成績に応じて型式ごとに9クラスに区分することにしました。

同一の車名でも型式ごとに事故成績が異なるため、型式によっては現行よりも掛金引き下げとなる場合や引き上げとなる場合があります。

\*車両の型式とは自動車进行分类するための識別番号

これまでは…

**型式別6クラス掛金:6区分**

型式ごとの新車価格に応じて区分

\*市場価格にもとづき全労済が決定



1クラスに対し、6クラスは約1.9倍

制度改定後

**型式別9クラス掛金:9区分**

事故成績に応じて型式ごとに区分

\*全労済・損保・JA共済などの事故成績にもとづき、損害保険料率算出機構が決定



1クラスに対し、9クラスは約4.3倍

**2 事故時の諸費用補償に盗難品の補償もセット!**

これまで別の特約だった「車両損害付随諸費用補償特約」と「車中動産盗難補償特約」が一つになり、さまざまな損害がカバーできるようになりました(オールリスク、エコノミーワイドのみ)。



- ・代車費用
- ・事故時の運送費用や帰宅費用など
- ・車上荒らしなどによる盗難被害
- ・身の回り品の損害

**3 車両共済金額の下限を  
20万円から10万円に変更**

車両共済金額が「20万円」未満になっても引き続き加入することができるようになりました。またこれまで加入できなかったお車でも一定の条件を満たせば、10万円を限度に加入が可能です。

**4 エコノミーワイド(車両損害補償)の  
補償範囲を拡大!**

現在の補償範囲に加え、「落書き、窓ガラス破損」を追加します。



**ズバリ!マイカー共済の見積金額は**

納める掛金

月払掛金 **4,310円**  
年払いならもっとおトク! **49,290円**

【詳細条件】  
・無事故割引等級:20等級 ・ABS装着車割引:あり  
・掛金クラス(車両):4クラス ・新車割引:あり  
・車両共済金額:100万円  
・運転者年齢条件:35歳以上補償  
・掛金クラス(賠償):Aクラス(総掛数1.50以下)

人身傷害補償 最高5,000万円  
対人・対物賠償 無制限  
車両損害補償 オールリスク  
付随諸費用補償 変車の損害から「車上荒らし」による損害までフルカバー!  
24時間・365日 無料ロードサービス 故障時の頼もしい味方です!

■ あなたの掛金を実感するために、まずはお見積りを

**全労済 筑後支所**  
福岡県久留米市東町42-14  
ワカナステートビル3F  
TEL 0942-38-8211

**全労済 北九州支所**  
福岡県北九州市小倉北区真鶴1-5-15  
真鶴会館3F  
TEL 093-591-7220

**全労済 福岡支所**  
福岡県福岡市中央区舞鶴1-1-7  
全労済モルティ天神ビル1F  
TEL 092-732-4047

ホームページ <http://zenrosai-fukuoka.jp> キーワード検索 **福岡031** クリック

お問い合わせ先 **全労済福岡県本部**  
(福岡県労働者共済生活協同組合)

受付時間(土・日・祝日を除く) 9:00~17:15まで  
**TEL 092-739-6100**

970A030

**教育ローン** ろうきん教育ローンアシスト

**特別金利**  
2008 **3.31**月  
まで

がんばる人を応援します。分割融資やゆとり元金据置返済もご利用OK!

**特別金利 変動金利 2.95%** さらに最大 **-0.6%** 金利優遇!

**特別金利 固定金利 3.65%** 詳しくはろうきんでおたずね下さい

ご返済期間  
変動金利:15年以内(据置期間含む)  
固定金利:10年以内(据置期間含む)

ご融資金額  
最高500万円

ご返済方法  
毎月払い、または毎月・ボーナス併用払い

お使いみち  
高校、大学、専門学校等で教育を受けるために必要な資金。入学金・授業料はもちろん、アパート代や仕送りといったさまざまな費用にご利用いただけます。

\*変動金利につきましては年2回金利の見直しを行います。また、ろうきんでご利用いただいている教育ローンと一本化する場合には条件があります。

※別途保証料0.7%または1.2%が必要となります。※表示金利は2008年1月1日現在のものです。※お申し込みの際には、審査の結果、ご契約いただけない場合がございます。※お近くのろうきんにお申し出ください。ご返済額の試算をいたします。また、パソコンや携帯電話からホームページの「ローン返済額シミュレーション」もご利用いただけます。※この内容は、2008年1月1日現在の商品等の概要を記載したもので保証先を(社)日本労働者信用基金協会とする場合です。

◆ご融資金利は、お申込日の金利ではなく、お借り入れ日の金利となります。

お問い合わせ先

**九州労働金庫福岡県本部** 〒810-8509 福岡市中央区大手門3-3-3 ☎092-714-7143  
ホームページアドレス <http://kyusyu.rokin.or.jp/>

連合福岡・事業団体・労福協

# 合同研修会開催

県労福協の年間活動計画に伴い「2008年・連合福岡・事業団体・県労福協合同研修会」が去る1月30日(水)、全労済マルチ天神ビル9Fで27名の役員が参加し、開催されました。

労福協は福祉事業団体の運営を通じて、勤労者福祉向上につとめる役目があります。具体的には、それぞれの事業団体の現状と課題について、①福岡県労働金庫(中村本部長)②全労済福岡県本部(島村理事長)より状況報告及び通念的な重点活動報告がなされました。

更に特別講演として

● 第1部「暮らしにしのびよる遺伝子組み換え技術の脅威！」  
グリーンコープ生活協同組合ふくおか理事長 宮中智美様

● 第2部 私が目指す「ワンストップコンサルタント」  
～相談者の抱える悩みや困りごとへの理解が第一歩～

NPO法人グローバルライフサポートセンター理事長(行政書士)山下ゆかり様  
のお二人の講演を開催し、又、問題提起を受け、大変有意義な研修会でした。



宮中智美理事長

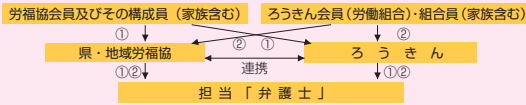


山下ゆかり理事長

## クレ・サラ セーフティネット

1. 相談対象範囲

- ① 労福協の会員及びその構成員(家族含む)
- ② 《ろうきん》の会員(労働組合)・組合員(家族含む)



- 2. 但し、着手金、弁護士報酬金、その他必要経費は、個人負担となります。
- 3. 相談窓口は、県・地域労福協および、九州労働金庫福岡県本部・各支店で受け付けます。

子育て、介護する人される人 なやまず気軽にお電話ください

県ろうふく協 グリーンコープ生協ふくおか **ふくし情報でんわ** 共同利用

	北九州(祝日も開設)	筑紫(祝日は休み)
開設日・時間	月～金 9:00～16:00	月～金 10:00～16:00
TEL	093-202-3039	092-593-5370
	福岡(祝日は休み)	筑後(祝日は休み)
開設日・時間	月～金 10:00～16:00	月～金 10:00～16:00
TEL	092-731-1455	0942-21-5406(留守番電話有り)

## さまざまなニーズに応える 安心のろうきんローン

住宅ローン・フリーローン・  
教育ローン・カーライフローン・  
カードローン(マイプラン)

ホームページアドレス  
<http://kyusyu.rokin.or.jp/>

お問い合わせは

九州労働金庫福岡県本部  
(092) 714-7143



家族と住まいに大きな安心。  
セット加入で頼れる保障。

- 自賠責保険付 火災共済
- 総合医療共済
- マイカー共済
- こくみん共済
- 自賠責共済
- ねんきん共済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆様の安心とゆとりある暮らしをめざしています。すでに組合員は全国で1,390万人。出資金をお支払いいただいで各都道府県生協の組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら  
**全労済**  
全国労働者共済生活協同組合連合会

全労済福岡県本部 (福岡県労働者共済生活協同組合)  
インターネットホームページアドレス  
TEL 092-739-6100 <http://www.zenrosai.or.jp>

加 盟 団 体

北九州地域労福協/遠賀川地域労福協/福岡地域労福協/北筑後地域労福協/南筑後地域労福協/筑紫・甘朝地域労福協  
京築・田川地域労福協/連合福岡/九州労働金庫福岡県本部/全労済福岡県本部/福岡県生活協同組合連合会/真鶴会館